

いずみさの
教の育
NOW
問合先
学校教育課

「いじめ」並び、「ともに育つ」ことが出来る学校をめざって

「障害者差別解消法」が施行されても、1年とたらず。そこでこの1年を振り返ると、輝かしいものとしてリオパラリンピックでの選手たちの活躍がありました。また、その活躍の裏側には心温まる周りのサポートがあったことも伝えられました。しかしながら、障害者施設での痛ましい事件のように暗い影を落とすものもありました。

この相反する2つの出来事をつなぐキーワードとして「障害理解」という言葉があります。障害について「どう理解し、どう向き合ってきたか」がそれぞれの結果に影響を与えているのではないかと考えます。

ひとつくりに「障害」という言葉の中には様々な種別があります。例えば視覚障害、聴覚障害、肢体不自由など比較的に理解されやすい障害もあれば、知的障害や発達障害などは見た目や少し話しただけでは理解されにくい障害もあります。そこで各小中学校では、子どもたちの発達段階や課題に応じて「障害理解」教育をすすめています。

その取組の一例として、車イス体験についての学習があります。車イス体験では乗る役と押す役をそれぞれ体験し

ます。学校内を車イスで移動する中で子どもたちは、普段は気づかない少しいの段差などに気づき、車イスを使った生活についての不便さを感じ、現在の社会環境と自分のこれから行動を結びつけながら考えていく学習をしています。体験以外でも、様々な教材の中から障害について考え、話し合う活動を通じて「障害理解」教育をすすめています。

また、教育委員会では、発達障害について支援教育コーディネーター研修を取り上げ、発達障害のある子どもたちの立場から考えることを通じて、教職員が障害の特性について理解を深め、教職員の専門性を高めるように支援しています。

加えて、専門家による巡回相談を実施し、個々の子どもたちにもどう関わっていくかを協議したり、学校全体として支援教育の観点をもって取り組めるようサポートを行ったりしています。

「障害理解」教育をすすめていくことは、「ともに学び、ともに育つ」ことが出来る学校の土台作りにつながっています。そのためにも各学校と連携した取組に努めてまいります。

学校園紹介



関西国際センターの研修生との交流
～北中小学校～

【学年の系統性を踏まえて】

2014年から2年続けて、市と地区の人権教育研究大会の分科会で国際理解をテーマにした発表をしたことで、「世界の国を知る」「日本の良さを知る」というキーワードを元に、学年の系統性を踏まえての具体化した取組を計画し実施してきました。

【世界各国からの研修生が来校】

2016年12月12日に関西国際センターの研修生24人に本校を訪問していただき、世界各国の方々と交流する機会に恵まれました。

最初の体育館でのセレモニーでは、6年生がそれぞれのプラカードを持って迎えに行き、拍手の中を一緒に入場しました。そして全員で本校オリジナルの「ふわふわ言葉のうた」を歌いました。その後は各学年や学級で、一緒に活動をしながら楽しく交流をすることができ、子どもたちはとても嬉しそうな表情をしていました。

【研修生の感想】

次の日の修了式で研修生の感想を聞くと、「日本に来て、色々な名所にも行ったが、北中小学校でかわいい子どもたちと過ごしたことが一番楽しかった。一生忘れません。」「ふわふわ言葉の歌が印象的で、歌のフレーズを口ずさんでいます。」など、嬉しい言葉をたくさん聞きました。

【詳しくはホームページで】

北中小学校ホームページでは、上記の行事を含め、普段の活動の様子などを紹介していますのでご覧ください。



三中の生徒会活動と各種委員会活動
～第三中学校～

本校の生徒は、生徒会活動や委員会活動を通して校内・外で活躍しています。とりわけ後期生徒会役員が「凡事徹底」（誰にでも出来る平凡なことを、誰にでも出来ないくらい徹底して続けようとする）を全校生徒に呼びかけ取り組んでいます。

まず校内の活動ですが、各種委員会の1つである給食委員会は全校集会やお昼の給食時間に、手洗いの励行を図るとともに給食残菜率ゼロをめざす呼びかけを行うことで、給食センターから、「チームワーク賞」や「もりもり食べたで賞」「ごくごく飲んだで賞」などたくさんの賞をいただきました。

文化委員会では全校一斉漢字小テストを実施しています。新聞から精選した漢字の読みを20問出題するもので、1年生から3年生まで同じ問題です。1週間前に問題を示し、テストをします。全校一斉に同じ時間（終学活の時間）に、同じように静かに座って集中してテストを受けることをねらいとして実施しています。

次に校外の活動としては、毎年夏休みに地域のみなさんと一緒に地域清掃活動（本校では「夏ボラ」とよんでいます）を実施しています。日頃、お世話になっている地域への恩返しのお礼として、本校周辺を始め、井原里駅や鶴原駅周辺、長坂小学校周辺などの清掃活動に取り組んでいます。PTAや青少年指導員をはじめ、多くのみなさんに参加していただいています。

昨年の夏には、FM OSAKAの番組「みんなともだち」の中で「夏ボラ」について紹介され、生徒会役員のインタビューの様子が放送されました。

4月からも、生徒たちの自主性を大切に、良き伝統を引き継ぎ、発展させていきたいと思っております。

